

# 政策の風『りんどう』

第3号 発行 令和3年1月15日



新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス禍の中、連盟活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。本年の熊本県歯科医師連盟の組織力強化と諸活動にご支援の程、宜しく願っています。

(熊本県歯科医師連盟役員一同)



熊本県歯科医師連盟  
会長 伊藤 明彦

令和3年 年頭所感

## 『泰然自若』

謹んで新春をお祝い申し上げます。オリンピックキッカーとなりませんでした。衛生用品の取得がままならない状態や、コロナ自粛による受診控えを契機とする経営不安など、医療界にも激震が走りまわりました。いかなる状況でも泰然自若に、県民の皆様へ安定した歯科医療を提供することが我々歯科医師の使命です。自民党県連、県選出の国会議員の先生方、日本歯科医師連盟顧問の国会議員の先生方の献身的な御支援に対して、大変感謝いたしております。今後とも政治・行政との連携を強固なものとするべく、県連活動に尽力して参りますので御理解・御協力の程宜しく願っています。本年も皆様の御健勝・御多幸を心から祈念し年始の挨拶といたします。

## 第1回日歯連盟政治セミナー開催

### 【主張を実現し、強く勝つ組織に】

第1回日本歯科医師連盟政治セミナーが1月12、13日の両日、東京千代田区のホテルメトロポリタンエドモントで、十分な感染対策を講じた上で、開催されました。コンセプトは、◎『主張』を『実現』する組織になる。◎『確実に票読みができる体制を整え、各種選挙に当選させる強い・勝つ組織になる。』というもので、各都道府県歯科医師連盟から連盟役員等が出席し、本連盟から牛島理事長及び本会から椿誠副会長が参加しました。浦田健二日歯連盟理事長の進行の元、高橋英登日歯連盟会長の挨拶、開会セレモニーの後、2日間にわたる講演が開始されました。日程は次の通りです。

#### 1日目

- 政治論「国政における政策実現のプロセス」  
—参議院議員 島村大・参議院議員 山田宏
- 政治論「自民党の組織と政策決定の仕組み」  
—参議院議員 上月良祐
- 選挙論「選挙違反 Q&A、他」  
—自由民主法曹団代表弁護士 橋爪雄彦
- 選挙論「インターネットと選挙論」  
—自由民主法曹団筆頭幹事弁護士 大胡誠

#### 【2日目】

- 政治論「診療報酬の決定と政治の役割」  
—衆議院議員 国光あやの
- 選挙論「インターネットを活用した今後の選挙戦略」  
—参議院議員 山田太郎
- 選挙論「平時の政治活動と選挙の実践」  
—元衆議院議員・日歯連盟嘱託 西田謙

当日は、安倍晋三前内閣総理大臣、山口自民党選対委員長、小野寺五典自民党組織運動本部長、尾辻秀久元厚労大臣、小淵優子経産大臣、関口昌一自民党参議院会長、丸川珠代自民党広報本部長、福岡資磨自民党厚労部会長と、錚々たる国会議員により挨拶を頂き、菅総理からの電報も披露されました。

山田宏参議院議員は、10月の日歯連盟臨時評議員会にて決定された組織代表として2022年の参議院議員選挙に臨む意気込みを熱く語り、「政治家として結果を出す」と述べられました。また上月良祐参議院議員の講演の中では、金銀パラジウム合金の問題や指導監督などについて、国光あやの衆議院議員の講演の中では、診療報酬改定について、霞が関や中医協に深く切り込んだ問題提議をされており、深く勉強になった上、大変心強く感じました。今後、この政治セミナーは継続する予定で、日歯連盟との連携や各都道府県における連盟活動と組織力強化を図るために多に役立つと思われます



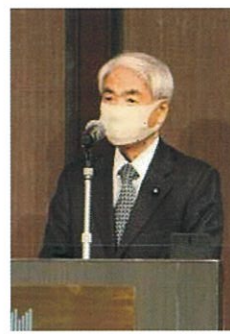
山田 宏 参議院議員



安倍晋三前内閣総理大臣



田村 厚労大臣



尾辻 元厚労大臣



国光あやの 衆議院議員



島村 大 参議院議員



新型コロナウイルス感染症関連の慰労金と感染対策支援金の申請はお済みですか？申請は1月15日～月末、2月15日～月末までの2回となっています。お急ぎください。ご不明な点は熊本県歯科医師連盟事務局までお問合せ下さい。

# 令和三年 新春鼎談 前川 収 自民党県連会長 「コロナ禍における歯科医療」

**牛島理事長（以下牛島）** 新年明けましておめでとございます。新型コロナウイルス感染症流行の中、お時間を頂きましてありがとうございます。まず伊藤会長から、今のコロナ禍における熊本県歯科医師連盟の活動について伺います。

**伊藤熊本県歯連盟会長（以下伊藤）** 新年明けましておめでとうございます。日頃より前川会長をはじめ自由民主党熊本県連の皆様には、大変お世話になっております。本年もどうぞよろしくお願い致します。熊本県では、2月に始まった新型コロナウイルス感染症も、現在第3波となり、感染拡大が広がる一方で、私たち歯科医療関係者も感染対策に、これまで以上の注意と努力をしています。4月、5月には、「歯科医院では感染リスクが高い」といった、誤った報道などにより、患者さんの歯科受診控えが起きました。その後、9割近く戻ってきたというのですが、この第3波でまた受診を控える方が多くなるとは心配しています。また、マスクやグローブ、エプロンなどの感染予防対策に必要な物品が一時、品薄となり、熊本県歯科医師会とともに、感染対策用品の確保に努め、会員の先生方へ配布しました。この際には、熊本県や自民党熊本県連にも大変お世話になりました。

**前川自由民主党熊本県連会長（以下前川）** 新年明けましておめでとうございます。歯科医療従事者の皆様には、このコロナ禍の中、県民の歯と口の健康をお守りいただいておりますこと、深く感謝と敬意を表します。我々も県と協力して、この新型コロナウイルス感染症の拡大をなんとか、押さえていきながら、同時に社会活動を止めないように、これまでの経験を活かしながら努力しています。歯科受診を控えられたことで何か影響がでていますか？

**伊藤** はい。患者さんが治療中であつたり、定期健診を中断することで、救える歯が救えない、あるいは歯周病などが悪化したといった例も出ています。

**前川** 歯科医院では、治療時に患者さんと顔を近づけて、唾液が沢山あるなかで診られています。わけですから、リスクは高いように感じます。しかし、実際には歯科の現場では感染はできていないと聞いています。

**伊藤** 国内では歯科診療を通じた感染は未だに1件もありません。これは、歯科診療が日頃から唾液に触れ、出血を伴う外科処置なども多いため、感染防御をしっかり実施し、新型コロナウイルス感染症の拡大では、会員の皆さんが感染対策品の高騰にも関わらず、自ら手出しをして、今まで以上に感染防止対策を徹底して頂いている結果だと思えます。



**牛島** 感染対策を徹底すればするほど、経費も掛かかりますし、また、3密を避けるために、予約を調整したり、寒くても室内の換気を行うなど、皆さん相当工夫努力されています。

**前川** 定期健診の中断などで、悪影響が出ていくという事ですが、安心して通院してほしいですね。

**伊藤** そうです。むしろ、このような時です。定期健診と口の中の専門的な管理をしっかり行わないといけません。歯周病は根本的な治療は難しく、いかに炎症のない状態をしっかりと維持することが重要です。感染対策でつけるマスクも、息苦しさで、口呼吸になりやすく、口の中が乾燥し唾液が少なくなると、細菌が繁殖して歯周病や歯肉のリスクが高まります。歯周病は前川会長もご存じの通り、全身の健康と深い関係があり、健康長寿の延伸のための歯科医療の役割は大きなものがあります。

**牛島** 昨年末に、京都大学の247,000人を対象とした調査で、高齢者の生活要因と健康寿命の関連を検証されたのですが、分析の結果、男女とも趣味の会やスポーツの会などの社会参加に次いで、歯科医療機関への通院の割合が高い市区町ほど、健康寿命は長い傾向がみられ、0.45、0.5歳長かったという結果が発表されていました。

**前川** 24万人とはすごいですね。データというのはとても大事で、数字が出るというのは、非常に分かりやすく、誤魔化しが効かないです。社会参加は何となくわかるのですが、歯科への通院の割合となると、歯と全身の健康が繋がることが、よくわかります。浦島知事も「熊本県の健康長寿は、歯から日本一を目指しましょう」と良く言われています。そういう事に關する発信は重要ですので、私たちも後盾のような気持ちで協力していきたいと思えます。



**伊藤** 今、歯科医師会では「歯周病プロジェクト」というものを立ち上げて、熊本県民の歯周病罹患率を日本一低くすることを大目標に、様々な方向から事業を立ち上げようと準備しています。その件についても、今後、県や県民への働きかけとご支援ご協力を、自民党県連のご支援ご協力をいただければと思います。

**前川** 一方で、子どものむし歯の罹患率というのは、最近どうなんですか。コロナの影響も受けていませんか？昔は全国ワースト2で、これはいけないと、動き出し、「熊本県歯及び口腔の歯科保健推進条例」を作ったという経緯もあり、気になっているのですが、もちろん少し長いスパンでみる必要があるのはわかっているのですが、自分達の政策の成果も、数字で見たいです。

**伊藤** フッ化物洗口の効果は、かなり出始めています。全体的なデータは今、集計と分析に取り組み始めています。地域別では、明らかに影響がでてきています。ただ、新型コロナウイルスの影響で、少し停滞している地域もあるようです。ある県では、職場で昼食の後、皆で歯みがきをしていただくことでクラスターが起きたケースがあり、そのあたりも影響しているようです。



自由民主党熊本県支部連合会  
前川 収会長

**前川** 歯磨きする時にマスクを取らざるを得ないのは、それでしょけれどね。歯磨きが悪いんじゃないからですね。しゃべりながら隣同士でするのが悪いんでしょう。そういう正しい知識も周知が必要ですね。

**伊藤** おっしゃる通り、歯磨きとむし歯ができていくのを工夫して考えると、学校でも職場でも、やり方を工夫してしっかりとしていくことが大切だと思えます。あとは高齢者についても、今、コロナでなかなか外出しづらい環境で、定期健診に来られていた方も、コロナの影響で来ない方もいます。また、生活不活発とかフレイルという状況に陥りやすくなります。そういう状況がさらに、オーラルフレイルや栄養低下などを引き起こし、口内環境も悪化してきます。

**前川** 誤嚥性肺炎につながる歯周病というのをやっぱりちゃんと治していくことが、大事なのですが、そういう歯の健康をしっかりとやらせてもらうことも重要ですね。

**牛島** 新型コロナウイルス感染症予防にも、歯磨きが重要で、ウイルスの増殖を防いでくれる可能性が高いようです。また、歯周病などの慢性炎症があることで、重症化しやすい、ということも言われています。

**前川** あと、コロナの影響で、癌の周術期の連携には影響はしていませんか？

**牛島** 今年度に入ってから10月末現在で、1,400件を超えています。昨年度一年間で1,632件だったので、昨年を上回る紹介を頂いていますので、コロナの影響は受けていないようです。

**前川** やはり癌の手術は、命に係わることで、今、今は歯科も医科も垣根が無い状態で動いていますから大変ですね。

**伊藤** 今年は衆議院議員も任期満了を迎え、総選挙が行われることになりましたね。

**前川** 今のところ、コロナ対策やオリンピックもあり、準備はしてあります。ただ、今年は、インバウンド需要の激減なども影響し、観光や飲食業をはじめ様々な産業での景気後退局面になりかねない状態の中、7月豪雨災害が起き、球磨川流域の治水など、問題も山積です。しかし、感染拡大も防がなければならぬ。100点の政策をやるというのは基本的に誰がやってもできないと思えます。医療サイドから見れば難しいところがあると思います。医療という側面からいって、社会活動を全く止めないということも中々できない状況です。政策論で見て、ヨーロッパ、アメリカみたいにロックダウンして一切外出禁止、ということもまだまだやっていない状況です。自粛でいうお願いベースの話でここまでやってきて、この先どうなるかは分からないですけど、日本人の性格から言うとお願いベースでちゃんとやること聞いてくれる。真面目です。

**伊藤** 政策決定とそれを表現するというのは物凄く色んな方面を多角的に見ないといけないですからね。前川会長もいろいろな団体から要望などがあって、それを伺って県でも対応を考え、政府や自民党本部に持っていくというのも大変だと思えます。

**前川** しかし、皆さんのお話を伺って、必要なことはしっかりと県でやって、うちはおかげさまで、国会議員の先生方とは、あまり拘り定規にやらなくても、分かったというところでやってくれていますので、非常に風通しが良いんです。組織の強さってそういうところだともおっしゃいます。歯科医師会も歯科医師連盟も、やはり風通しが良く、皆の意見が言い合えて、反映もできていくという部分がどうあるかということが、組織の強さにつながると思います。

**伊藤** 私共も、こうやって県連会長や県議の先生方とフランクにお話できることがとてもありがたい環境にあると思っております。今はコロナでありたい環境にありませんが、以前から実施していた自民党県連との定期的な意見交換会もやっていけるような状況になればと思います。

**前川** ほんとですね。時期を見てやりましょう。これからは、ワクチン接種もはじまっていますが、ワクチンが心配の声を聞かれています。ただ、あまり過剰に心配しすぎるのも、子宮頸がんの啓発などと同じような難しさもあるように思いますが、今あるなかで最善を尽くすことが重要です。医学的見地をしっかりと入れながら、ただし、経済活動とのベストバランスをやっぱりどう取るかというところしかないと思います。

**牛島** 本日は貴重なお時間を頂き、ありがとうございます。

**伊藤** 今後とも熊本県歯科医師連盟をよろしくお願ひいたします。

**前川** こちらこそ宜しくお願ひします。ありがとうございました。



伊藤明彦県歯連盟会長 前川収自民党県連会長 牛島隆県歯連盟理事長

## 日本歯科医師連盟 第26回参議院議員 比例代表選挙候補者は 山田宏参議院議員

第141回日本歯科医師連盟臨時評議員会で推薦決定



山田 宏 (やまだ ひろし)

参議院議員  
元防衛大臣政務官  
自由民主党：広報本部本部長代理／国防部会会長代理  
日本歯科医師連盟 顧問 広報委員会論説委員  
東京都歯科医師連盟 顧問 岐阜県歯科医師連盟 顧問  
所属委員会：予算委員会 / 外交防衛委員会 / 沖縄及び北方領土に関する特別委員会

### あとがき

2021年の干支は辛丑（かのとうし）です。「辛」は、痛みを伴う幕引き、「丑」は殻を破ろうとする命の息吹、希望という意味があり、辛丑の年は、辛いことが多いだけ、大きな希望が芽生える年になるといわれています。540年前の辛丑の年に亡くなった、一休和尚が弟子に向けた遺文には「心配するな、何とかなる」と書かれていたと伝えられています。また、60年前の辛丑の年には、故坂本九さんの「上を向いて歩こう」が大流行しました。この新型コロナウイルスの禍が今年のうちに収まることを期待しながら、前を向いて進みたいところです。(T.U)

連盟会員の皆様のご意見を募集しています。  
連盟活動に関する、ご要望やご意見は  
熊本県歯科医師連盟まで  
[renmei@kuma8020.com](mailto:renmei@kuma8020.com)